

# 平成29年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 岡部 宗光

## ○ 平成29年度重要事業

事業名	高齢者及び障がい者福祉の向上
目標	<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)を見据え、地域包括ケアシステムの一層の深化・推進を図るため、「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定するほか、「認知症初期集中支援チーム」や「在宅医療・介護連携支援相談窓口」を設置します。</p> <p>また、障がい児・者が自立した生活を営むことができるよう、今後の障害福祉サービスの確保に係る目標等を定める「第5期障害福祉計画」を策定します。</p>
年度末達成状況	<p>「みんなが活躍し 支え合う ともにめざす健康長寿のまち 射水」の基本理念と6つの基本目標からなる「高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」を策定したほか、昨年6月には、地域福祉課内に「認知症初期集中支援チーム」及び「在宅医療・介護連携支援相談窓口」を設置し、相談・支援体制の更なる充実を図りました。</p> <p>また、生活介護、地域生活支援、就労支援、医療ケア児支援対策等の強化を図り、地域共生社会の実現をめざすため、第5期障害福祉計画を策定しました。</p>
自己評価	<p>外部委員やパブリック・コメントなど、多様なご意見を踏まえて計画を策定しました。今後、基本理念の実現に向け、計画に掲げる事業を着実に推進していきます。</p>

事業名	子育て支援の推進
目標	<p>子育ての不安が安心や喜びに変わるまちを目指し、赤ちゃんの駅事業、産後ケア事業、母子保健型子育て世代包括支援センターの設置など、新たな子育て支援施策に取り組むとともに、多様な保育ニーズにお応えできるよう、保護者や地域等と合意形成を図りながら市立保育園の民営化を推進します。</p> <p>また、本市の子どもを取り巻く現状を把握し、効果的な支援につなげるため、子どもの貧困に関する実態調査等を行います。</p>
年度末達成状況	<p>妊娠期から子育て期にわたる様々な悩みや不安等へ対応するため、子ども子育て総合支援センター内に母子保健型子育て世代包括支援センターを設置しました。加えて、産後の育児支援を行う産後ケア事業を産科医療機関に委託し、日帰りや泊まりで利用できる体制の整備を図りました。</p> <p>市立保育園の民営化の推進については、市立新湊保育園と市立新湊西部保育園の統合・民営化に係る引受法人を決定しました。</p> <p>赤ちゃんの駅事業では、赤ちゃんの駅と一目でわかるステッカーを作成したほか、子どもの貧困対策を総合的に推進するための市子ども</p>

	の未来応援計画を策定しました。
自己評価	新規事業のPRに努め、利用者増を図っていきます。 2020年(平成32年)4月の(仮称)射水万葉認定こども園の開園を目指し準備を進めます。 子どもの未来応援計画に掲げる取組を推進していきます。

事業名	健康寿命の延伸
目標	糖尿病の患者数が増加していることから、未治療者への受診勧奨訪問を行い、重症化予防を図るとともに、国民健康保険事業において、レセプト情報を活用した新たな「データヘルス計画」を策定し、健康寿命の延伸や医療費の適正化に向けた効果的・効率的な保健事業に取り組みます。
年度末達成状況	射水市医師会と連携・協力し、国民健康保険被保険者の糖尿病未治療者・治療中断者のうち、糖尿病性腎症の可能性が高い方には、保健師等が医療と連携した保健指導を実施し、重症化予防に努めました。 また、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、健康・レセプト情報を活用し、「第2期データヘルス計画」【計画期間は2018年度(平成30年度)から2023年度(平成35年度)までの6年間】を策定しました。
自己評価	第2期データヘルス計画に掲げる保健事業を推進してまいります。特に、重点事業である特定健診の受診率の向上や糖尿病重症化予防の指導対象者へのアプローチを強化していきます。